

## II 保健予防推進担当

### 1 感染症対策

#### (1) 感染症発生状況

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により、管内医療機関から、三類感染症19件の届出があった。

また、四類感染症は、レジオネラ症15件、A型肝炎1件の届出があり、五類感染症は、アメーバ赤痢4件、カルバペネム耐性腸内細菌感染症3件、急性脳炎5件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2件、後天性免疫不全症候群1件、侵襲性インフルエンザ菌感染症1件、侵襲性肺炎球菌感染症24件、水痘（入院例）2件、梅毒11件、播種性クリプトコックス症1件、麻しん1件の届出があった。

三類感染症			平成28年度（件）		
内 訳	患 者 届出数	就業制限等 件数	接触者検診（便検査）		
			実施件数	結 果	
				陽性	陰性
腸管出血性 大腸菌感染症	19	19	43	3	40

#### (2) 感染症対策研修会

日 時	平成28年6月22日	会 場	朝霞保健所
参加者	保育所職員 49名（48施設）		
内 容	1 講義 保育所における感染症対策について —O157、ノロウイルス等の対策を中心に— 講師 独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院 感染症管理認定看護師・感染症看護専門看護師 坂木 晴世 氏 2 演習 乳児のおむつ交換、手袋・エプロンの着脱、 嘔吐物処理		

日 時	平成29年1月31日	会 場	朝霞保健所
参加者	医療機関職員、市町職員等 44名（20機関）		
内 容	講義 新型インフルエンザ対策の現状と課題 講師 防衛医科大学校病院 副院長 川名 明彦 氏		

(3) エイズその他の感染症

エイズ相談・抗体検査実施状況 平成28年度(件)

抗体検査数	相談件数
195	521

性感染症に関する相談については、随時対応している。

(4) 結核対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、健康診断、患者管理、感染防止、結核医療を根幹として一貫した対策を行っている。

ア 結核接触者健康診断

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第17条に基づく接触者健康診断の実施状況である。

平成28年度(人)

種別	ツバルリン 反応検査	エックス線検査		喀痰 検査	I G R A 検査	患者発見等	
		間接撮影	直接撮影			患者	発病の おそれあり
人数	15	—	219	0	719	2	28

イ 患者管理

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の規定による届出を受けた時、患者の登録を行っている。

平成28年の新規登録者数は、100名である。

また、平成28年12月31日現在の登録患者数は246名である。

(7) 新登録患者数(活動性分類)

平成28年(人)

種別 市別	活動性結核								(別掲) 潜在性 結核 感染症
	肺結核活動性							合計	
	喀痰塗抹陽性			その他の 結核菌 陽性	菌陰性 ・ その他	小計	肺外 結核 活動性		
	初回 治療	再治療	小計						
朝霞市	6	1	7	4	2	13	1	14	6
志木市	8	—	8	2	1	11	3	14	8
和光市	1	—	1	2	—	3	5	8	10
新座市	10	—	10	13	1	24	1	25	18
富士見市	12	—	12	3	1	16	4	20	8
ふじみ野市	3	1	4	5	2	11	4	15	7
三芳町	—	—	—	3	—	3	1	4	—
合計	40	2	42	32	7	81	19	100	57

## (イ)新登録患者数(年齢別、市別)

平成28年(人)

市別 年齢	朝霞市	志木市	和光市	新座市	富士見市	ふじみ野市	三芳町	計
0～9歳	—	—	—	—	—	—	—	—
10～19歳	—	—	—	—	—	—	—	—
20～29歳	5	1	1	1	1	—	—	9
30～39歳	1	—	1	—	1	4	1	8
40～49歳	3	3	—	3	3	3	—	15
50～59歳	1	1	1	4	1	2	—	10
60～69歳	—	2	2	9	3	1	2	19
70歳以上	4	7	3	8	11	5	1	39
合計	14	14	8	25	20	15	4	100

## (ウ)登録患者数(活動性分類)

平成28年12月31日現在(人)

種別 市別	活動性結核								不活動性 結核	活動性 不明	総計	(別掲) 潜在性 結核 感染症
	肺結核活動性						肺外 結核 活動性	合計				
	喀痰塗抹陽性			その他 の結核 菌陽性	菌陰性 ・ その他	小計						
	初回 治療	再治療	小計									
朝霞市	4	1	5	4	1	10	—	10	34	10	54	16
志木市	4	—	4	1	1	6	2	8	16	1	25	13
和光市	1	—	1	1	—	2	—	2	20	4	26	13
新座市	5	—	5	6	1	12	—	12	42	—	54	23
富士見市	6	—	6	2	—	8	4	12	26	4	42	12
ふじみ野市	2	—	2	5	—	7	2	9	14	10	33	10
三芳町	—	—	—	2	—	2	1	3	8	1	12	—
合計	22	1	23	21	3	47	9	56	160	30	246	87



(イ) 管理検診

結核登録患者で医学的情報を把握する必要のある者に対して健康診断を実施している。

平成28年度

実施場所	種別	直接撮影 (件)	間接撮影 (件)	発見患者(人)	
				患者	おそれあり
保健所		35	—	—	—

ウ 保健指導

他の者に感染させるおそれの高い喀痰塗抹陽性患者に対する訪問、面接などに特に重点を置き、平成17年度からは患者の治療完了率の向上を図ることを目的に「服薬確認を軸とした患者支援（「DOTS」という）」を実施している。

患者及び家族への保健指導の内容は、結核についての知識の普及、内服薬等の指導、接触者健診の勧奨、療養の指導、結核の管理システムについてなどである。

また、接触者に対しては、当保健所で作成したリーフレット等を用いながら結核についての知識の普及と健診の必要性について説明している。

平成28年度(人)

相談		訪問指導			
電話 (延べ人員)	来所 (延べ人員)	実人員	(再掲)DOTS	延べ人員	(再掲)DOTS
2,818	411	169	109	368	273

エ 適正医療の確保

感染症診査協議会において、入院勧告、結核医療費公費負担申請に関する必要事項を審議している。

朝霞保健所感染症診査協議会

平成28年度

開催回数	1回当たりの件数	延べ診査件数
24回	約16件	389件
診査内容 (内訳)	第18条 (就業制限)	63件
	第19条・第20条 (入院勧告)	107件
	公費負担(第37条の2) (継続申請を含む)	219件

## 2 難病対策

### (1) 指定難病対策事業

#### ア 指定難病等医療給付制度

平成27年1月1日付けで難病の患者に対する医療等に関する法律が施行され、大幅な制度改正が行われた。原因不明で治療方法が確定していない、いわゆる難病のうち、厚生労働大臣が指定する「指定難病（330疾患）」、特定疾患治療研究事業の対象疾患「特定疾患（4疾患）」、県単独指定難病「県単独指定難病（4疾患）」に対し、適正な医療の普及と患者の医療費の負担軽減を図っている。

管内受給者数

平成29年3月31日現在（人）

	朝霞市	志木市	和光市	新座市	富士見市	ふじみ野市	三芳町	小計
指定難病	793	468	452	1,077	723	697	273	4,483
特定疾患	—	1	1	—	1	—	—	3
県単独指定難病	—	—	—	2	—	1	1	4
合計	793	469	453	1,079	724	698	274	4,490

#### イ 先天性血液凝固因子欠乏症等医療給付制度

管内受給者数

平成29年3月31日現在

疾患名	受給者数
先天性血液凝固因子欠乏症	25人

#### ウ 小児慢性特定疾病医療費助成制度

【5 母子保健（1）医療給付等受給状況 ウ 小児慢性特定疾病医療助成制度 P36に掲載】

### (2) 難病相談事業

ア 患者・家族が病気の理解を深め療養生活に役立てられるよう講演会を開催した。

日時	平成28年10月6日	会場	朝霞保健所
対象	管内パーキンソン病・脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の患者家族		
参加人数	57名		
内容	講演「神経難病患者さんの嚥下障害」 講師 埼玉県リハビリテーションセンター 担当部長兼言語聴覚科長 言語聴覚士 清水 充子 先生 伝達報告「リハビリテーションについて」（朝霞保健所保健師）		

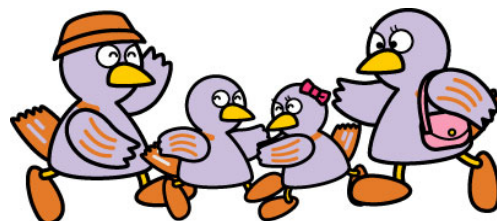
イ 難病保健指導

	件数
申請時相談等	延べ17,477件 (うち面接による相談8,661件)
訪問指導	実人員 49名 延べ人員 83名
在宅療養支援評価件数 在宅療養支援計画策定(ケース検討等)	5回 評価件数 100件 計画策定 39件

ウ 筋委縮性側索硬化症交流会

日 時	平成28年11月26日	会 場	朝霞保健所
対 象	ALS患者・家族、医療関係者		
参加人数	54名		
内 容	<p>「日本ALS協会埼玉県支部 西部ブロック交流会」 日本ALS協会埼玉県支部との共催で実施。 県西ブロック(狭山保健所、坂戸保健所、東松山保健所、朝霞保健所、川越市保健所)乗り入れ事業として実施。</p>		

日 時	平成28年5月30日 平成29年3月1日	会 場	朝霞保健所
対 象	管内ALS患者・家族・関係機関職員		
参加人数	28名		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換、2回目は関係職員も交え情報交換</li> <li>・嚥下食や栄養補助食品の紹介、サンプル配布(管理栄養士)</li> <li>・療養生活・コミュニケーション機器等の情報提供(保健師)</li> <li>・災害対策(保健師)</li> <li>・指定難病の継続申請のお知らせ(行政職員)</li> </ul>		



### 3 原爆被爆者対策

原爆被爆者等に対し医療給付、各種手当支給等を行っている。

#### (1) 健康手帳所持者数

平成29年3月31日現在(人)

管内計	朝霞市	志木市	和光市	新座市	富士見市	ふじみ野市	三芳町
255	38	30	33	72	29	42	11

#### (2) 申請(一般疾病療養費等)

平成28年度申請者数 109名

### 4 肝炎治療医療費助成

#### (1) 肝炎治療受給者証申請件数

平成28年度

申請区分	件数
インターフェロン	1件
インターフェロンフリー 新規	202件
インターフェロンフリー 再治療	1件
核酸アナログ製剤 新規	42件
核酸アナログ製剤 更新	200件
その他(変更等)	24件
合計	470件

#### (2) 肝炎重症化予防費用助成申請件数

11件

## 5 母子保健

### (1) 医療給付等受給状況

#### ア 療育給付

骨関節結核その他の結核にかかり入院している児童に対し、治療に必要な医療費を給付し、学習用品や日用品を支給するものである。平成28年度の申請はなかった。

#### イ 妊娠中毒症等療養援護費

妊娠中毒等により患し、必要な医療を受けるため7日以上入院した低所得世帯等の妊婦に対し、その療養に要する費用の一部を支給するものである。平成28年度の申請はなかった。

#### ウ 小児慢性特定疾病医療助成制度

国が指定した小児慢性特定疾病に対し、医療費の一部を助成する制度である。平成29年4月1日の制度改正により、722疾病(14疾患群)に拡大された。

平成28年度小児慢性特定疾病受給者数

(人)

疾患番号	疾患名	管内計	朝霞市	志木市	和光市	新座市	富士見市	ふじみ野市	三芳町
1	悪性新生物	90	12	10	10	25	14	13	6
2	慢性腎疾患	34	5	1	4	9	5	9	1
3	慢性呼吸器疾患	37	5	3	7	4	6	11	1
4	慢性心疾患	169	38	12	15	39	29	26	10
5	内分泌疾患	145	31	12	12	36	24	22	8
6	膠原病	17	3	1	—	2	6	4	1
7	糖尿病	39	10	3	4	7	9	5	1
8	先天性代謝異常	26	2	4	2	9	3	5	1
9	血液疾患	15	4	—	4	2	—	1	4
10	免疫疾患	8	1	1	—	2	—	4	—
11	神経・筋疾患	59	11	2	8	12	12	8	6
12	慢性消化器疾患	24	3	4	1	5	6	2	3
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	17	4	1	3	1	5	2	1
14	皮膚疾患群	4	1	—	—	3	—	—	—
合計		684	130	54	70	156	119	112	43

#### エ 不妊治療費助成事業

不妊治療(体外受精、顕微授精及び男性不妊治療)を受けた法律上の夫婦のうち、住所要件や所得要件を満たす場合に、1回の治療につき15万円を上限(初回申請時の助成額の上限30万円)とし、医療費を助成する制度である。助成回数は治療開始日の妻の年齢により、通算3回~6回となっている。

平成28年度不妊治療費助成件数

(件)

	朝霞市	志木市	和光市	新座市	富士見市	ふじみ野市	三芳町	その他	合計
延べ件数	274	105	177	217	153	131	37	—	1,094



(2) 母子保健に関する健康相談

こどもの心の健康相談

こどもの精神的な問題に関し、精神科医及び臨床心理士による専門相談を9回実施し、12名(延べ28名)の相談を実施した。

(3) 在宅療養児の子育て交流会

在宅酸素療法や人工呼吸器などの医療機器を使用している子どもとその保護者を対象に、保護者同士の交流を通じて家庭における療育支援を図るため交流会を開催した。

年月日	内 容	会 場	参加者 (人)			
			保護者	在宅療養児	兄弟	スタッフ・関係者
H28. 6. 25	グループ相談 ミニ講義「災害時の備え」 (株)サイサン 油井 徳一氏	富士見市立 みずほ学園	10	5	5	21
H28. 10. 15	グループ相談	新座市 みどり学園	3	2	1	16

(4) 母子保健相談及び家庭訪問

ア 訪問指導

医療ケアのある在宅療養児や虐待のおそれのある家庭への訪問指導を実施した。

平成28年度

	妊婦	産婦	未熟児	新生児 (未熟児は除く)	乳児	幼児	その他	合計
実人員	—	1	3	1	4	5	9	23
延べ人員	—	3	3	1	5	17	29	58

イ 保健指導

医療の申請等での面接時に児童や家族の健康相談、各種制度や相談窓口の説明を行った。また、電話により育児や医療給付制度に関する相談を実施した。

平成28年度

面 接 (延べ人員)						電 話	合 計
妊 婦	産 婦	乳 児	幼 児	その他	小 計		
—	1	30	20	31	82	201	283

(5) 母子保健に関する講演会・研修会

ア 管内母子保健関係者への会議・研修

(ア) 「母子保健事業連絡調整会議」	計	2回
(イ) 「母親支援に関する研修会」	計	1回
(ウ) 「子どもの心の問題に関する研修会」	計	1回

(6) ふれあい親子支援事業

育児困難感等を抱える母親への支援と児童虐待予防を目的として、グループワークや事例検討会を開催している

ア グループワーク

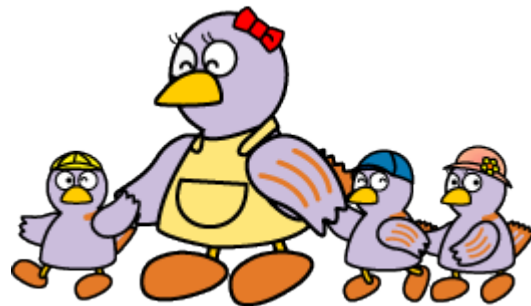
臨床心理士がファシリテーター、保健所保健師が記録等を担当しグループワークを実施した。なお、参加時間帯は参加者の子の保育を行った。

12回実施	利用者	実 3名	延べ14名
	保育	延べ 7名	

イ 事例検討（受理会議）

実施回数：10回 検討事例11件

対象：市町村ほか関係機関職員



## 6 栄養・健康増進

### (1) 栄養指導等

平成28年度

区分 対象者	個別指導(件)			集団指導(件)			
	栄養指導	運動指導	禁煙指導	栄養指導	運動指導	休養指導	禁煙指導
20歳未満	19	—	—	—	—	—	—
20歳以上	3	—	—	449	42	46	—

### (2) 栄養関係団体育成事業

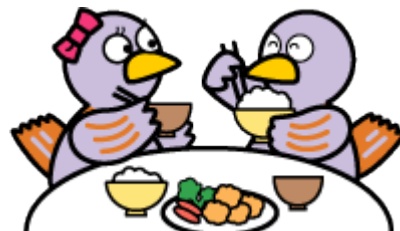
#### ア 地域活動栄養士

定例会の活動支援 10回 延べ125人

#### イ 給食施設従事者

給食施設から健康づくりを推進するため、給食施設従事者の人材育成・支援の一環として、栄養管理、衛生管理における知識及び意識の向上を目的に、研修会を実施した。

実施日	内容	参加者数
H28. 6. 16	講演Ⅰ「気を付けよう！脱水と水分のお話し」 講師 (株)大塚製薬工場 OS-1 事業部 埼玉担当 荒井 剛 氏  講演Ⅱ「事例からみる給食施設における衛生管理」 講師 朝霞保健所 生活衛生・薬事担当職員 (会場 朝霞市コミュニティーセンター)	162名



(3) 食育普及研修会

地域における食育関係機関の連携と関係者の意識の向上を図ることを目的に、食育普及研修会を実施した。

実施日	内 容	参加者
H28. 8. 31	<p>災害時の栄養・食支援研修会 講演とグループワーク テーマ「震災発生後2日間で迫られる判断と準備 ～グッラッ!その時調理場では何をしますか? どんな準備をしていますか?～」</p> <p>講師 お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系 公衆栄養学研究室 准教授 須藤 紀子 氏 (会場 朝霞保健所)</p>	管内市町関係職員(保健衛生、高齢者福祉、防災)、給食施設管理者及び担当者(高齢者福祉、介護老人福祉)、地域活動栄養士等 33名
H28. 9. 15	<p>食育推進担当者会議及び研修会 講義「健康づくり・食育における実態把握のためのアンケート調査設計について」</p> <p>講師 国立保健医療科学院 石川 みどり 氏 (会場 朝霞保健所)</p>	管内保健センター等食育推進担当者 17名
H28. 12. 12	<p>栄養士研修会 講演「『食品成分表2015年版(七訂)』を『栄養士として』活用する、応用する、人に伝える」</p> <p>講師 ヘルスサポート研究会カナン 管理栄養士 新出 真理 氏 (会場 朝霞保健所)</p>	地域活動栄養士、栄養士資格のある一般市民、管内市町関係職員等 36名

(4) 健康づくりのための埼玉県地域・職域連携推進事業

ア 健康課題対策会議

各市町で実施する特定健診・特定保健指導事業等が円滑、かつ効果的に実施できるよう支援を行った。

実施日	内 容	参加者
H29. 1. 27	<p>健康課題対策会議 内容：担当者会議及び情報交換 平成28年度特定健診・保健指導事業実施について その他 (会場 朝霞保健所)</p>	市町村国保及び保健衛生主管課担当者、管内健康保険組合等職員、企業内診療所職員及び保健所職員 13名

イ 効果的な保健指導実施支援事業

保健指導実務者等のスキルアップ、保健指導の質の向上及び円滑な地域・職域の連携推進を目指して研修会を実施した。

実施日	内 容	参加者
H28. 12. 19	<p>西部地域保健所合同研修会</p> <p>講演「こころの健康による生活習慣（食事・運動・睡眠）とは」</p> <p>講師 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第三部 部長 医学博士 功刀 浩 氏</p> <p>東松山・坂戸・狭山・川越市保健所と共催 （会場 川越地方庁舎大会議室）</p>	<p>市町村国保及び保健衛生主管課担当者、管内健康保険組合等職員、企業内診療所職員、地域活動栄養士</p> <p>59名</p>
H29. 1. 25	<p>健康づくり研修会</p> <p>（1）講義「健康長寿へはじめのいっぽ～埼玉県健康長寿サポーターとは～」</p> <p>講師 朝霞保健所 保健予防推進担当職員</p> <p>（2）講義及び演習 「やってみて体感！体幹トレーニングと腰痛予防～腰痛予防のストレッチとかんたんトレーニング～」</p> <p>講師 日本健康運動指導士会 埼玉県支部 事務局長 健康運動指導士 浅見 真一 氏 （会場 朝霞保健所）</p>	<p>管内給食研究会会員施設職員、管内給食施設関係職員</p> <p>19名</p>
H29. 1. 27	<p>地域・職域連携推進事業研修会</p> <p>講演「運動をとり入れた生活習慣病予防を実践するために知っておきたいこと、やっておきたいこと」</p> <p>講師 東洋大学 ライフデザイン学部 健康スポーツ学科 教授 神野 宏司 氏 （会場 朝霞保健所）</p>	<p>市町村国保及び保健衛生主管課担当者、管内健康保険組合等職員、企業内診療所職員、地域活動栄養士</p> <p>18名</p>
H29. 3. 16	<p>生活習慣病予防研修会</p> <p>講義「認知症を学ぶ」～地域の支援、予防について～</p> <p>講師 静風荘病院 看護部顧問 朝霞地区医師会 地域包括ケア支援室 主任ケアマネージャー 宮崎 祐子 氏 （会場 朝霞保健所）</p>	<p>市町村国保及び保健衛生主管課担当者、健康管理室等を有する管内の事業所管理者及び担当者、全国健康保険協会埼玉支部担当者、地域活動栄養士会等</p> <p>24名</p>

ウ 管内事業所従業員に対する健康づくり事業への参画

管内の事業所従業員を対象とした健康づくり事業を事業所の健保組合診療所スタッフ（産業医、産業看護師、保健師等）及び事業所食堂部門（管理栄養士等）との連携会議に参画した。

- ・ 連携会議：平成28年5月～29年3月 計8回
- ・ 給食施設における食事相談会  
平成28年10月20日、27日  
当該事業所給食施設利用者（新入社員）19人に対する個別食事相談

エ 特定健診受診率向上事業

保健所での研修会等各種事業を活用し周知を図るとともに、管内市町の取り組みに対し、支援・協力を行った。

○保健所主催研修会及び国民健康・栄養調査時等における受診勧奨

○管内市町の取り組みへの支援・協力

実施日	内 容	参加者
H28.10.16	「朝霞地区4市特定健診受診率向上キャンペーン」 会場：朝霞市駅周辺 内容：健康相談、啓発チラシ等配布、測定コーナー等	一般住民 195名

(5) 受動喫煙対策

受動喫煙対策の一環として、「埼玉県全面禁煙・空間分煙実施施設」の認証制度の推進を図った。

(件)

種 別	全面禁煙	空間分煙	合 計
保健・福祉・医療機関	242 (1)	—	242 (1)
教育関係機関	153 (1)	1	154 (1)
文化・運動施設	20	1	21
飲食店等	73	1	74
その他民間施設等	8	2	10
官 公 庁	27	—	27
合 計	523 (2)	5	528 (2)

※ ( ) 内は平成28年度の新規認証件数

(6) 給食施設指導

(件)

給食管理指導 延べ施設数	特定給食施設		その他の 給食施設	合計
	1回100食以上 又は 1日250食以上	1回300食以上 又は 1日750食以上		
	133	66	114	313

## 7 歯科保健

保健所と管内市町、地域の歯科医師、歯科衛生士との連携を図ることを目的に、保健所歯科口腔保健連携会議を実施した。

実施日	内容	参加者
H28. 12. 15	<p>朝霞保健所歯科口腔保健連携会議</p> <p>(1) 講話Ⅰ：「埼玉県の歯科口腔保健推進計画 (第2次)について」 講師：埼玉県健康長寿課 医員 小泉 伸秀 氏</p> <p>(2) 実践報告Ⅰ：「地域包括ケアシステムについて」 朝霞地区歯科医師会 田中 入 先生</p> <p>(3) 講話Ⅱ：「高齢者の口腔アセスメントと地域連携」 講師：埼玉県歯科医師会 出浦 恵子 先生</p> <p>(4) 実践報告Ⅱ：「入間郡市第6支部における 取組について」 入間郡市歯科医師会第6支部 佐藤 昭彦 先生</p> <p>(5) グループディスカッション テーマ：「地域で連携してQOLをより高めよう」 ～地域でQOLをより高めるための 口腔保健とは～ 進行：入間郡市歯科医師会 大野 康 先生 (会場 朝霞保健所)</p>	<p>朝霞地区歯科医師会 入間郡市歯科医師会 埼玉県歯科衛生士会 朝霞支部・川越支部 管内市町関係者 (保健・高齢福祉)、 保健所職員等 39名</p>

## 8 精神保健福祉

保健所は地域精神保健福祉活動の中心機関として、地域住民の保健福祉ニーズに応じ、様々な精神保健福祉サービス事業を実施している。

### (1) 精神保健福祉相談及び訪問指導

保健師や精神保健福祉相談員が、随時相談及び訪問指導を行っている。新規の受付経路では、警察からの紹介によるものが増えている。

また、管内市町職員等から個別ケースの対応についての技術的支援を求められることが多い。

#### ア 相談及び訪問指導の受付経路

平成28年度

実人員（人）	受付経路の内訳（人）		
	市町村	医療機関	その他
450	67	32	351

※その他には、警察、本人、家族・親戚、知人等が含まれる。

#### イ 訪問指導状況

平成28年度

実人員 （人）	訪問指導内容（延べ人員（人））					合計
	社会復帰	アルコール	薬物	ひきこもり	その他	
140	4	15	3	17	341	380

※その他には、入院・受診に関する相談等が含まれる。

#### ウ 相談状況（面接・電話による相談）

平成28年度

相談内容（延べ人員（人））							合計	（再掲） 電話相談 延べ人員
老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	その他		
62	25	135	33	58	60	3,437	3,810	3,115

※その他には、ひきこもり、自殺関連等の相談が含まれる。

### (2) 通報及び措置入院患者数

平成28年度の通報件数は、合計97件。そのうち75件で精神保健診察を実施し、措置入院は51件であった。



(3) 精神保健福祉連絡調整会議

精神保健福祉事業運営上の検討、管内の連携強化を図るため、管内市町との連絡調整会議を実施した。

(4) 地域精神保健福祉対策推進事業

地域精神保健福祉の推進を図るため、関係機関職員、精神障害者の家族、一般市民を対象に、研修会・相談事業等を開催した。

ア 個別支援技術研修会

関係機関担当者の対応能力向上のため、管内各市町保健センター・健康増進センター、福祉関係課、地域生活支援センター等の職員を対象に精神科医師を助言者とする事例検討会を開催した。

全5回：参加者延べ81名

イ ひきこもり相談

(ア) ひきこもり専門相談

臨床心理士による専門相談を実施した。

合計7回：利用者延べ12名

(イ) 家族教室

家族を対象にした家族教室を開催した。

全2回：参加者延べ23名

(ウ) ひきこもり支援に係わる情報交換会

参加者 8 関係機関12名

ウ 精神保健福祉ネットワーク会議

管内精神保健福祉等関係機関のネットワークを構築し精神障害者の支援の充実を図るため、ネットワーク会議を実施した。

2回実施：参加者延べ67名

(5) 自殺予防対策

自殺へ傾いた人への支援及び生きやすい地域づくりの推進を目的として、次の事業を実施した。

ア 県民向け講演会『こころと体の健康とアルコール健康講座「優しく楽しく節酒宣言。」』 3回実施 参加者延べ48名

イ 保健所窓口等で啓発リーフレット、相談窓口案内カードの配布

